

今年度の出水対応を振り返り、来年度出水期に備える ～平成29年度 第2回手取川、梯川等減災対策協議会を開催～

手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会では、2度にわたり氾濫危険水位を超過した出水対応を振り返り、次期出水に備え、防災対応について情報共有しました。
また、万が一、手取川、梯川が氾濫したときに備え、防災行動をチェックする住民向けパンフレットを公表しました。

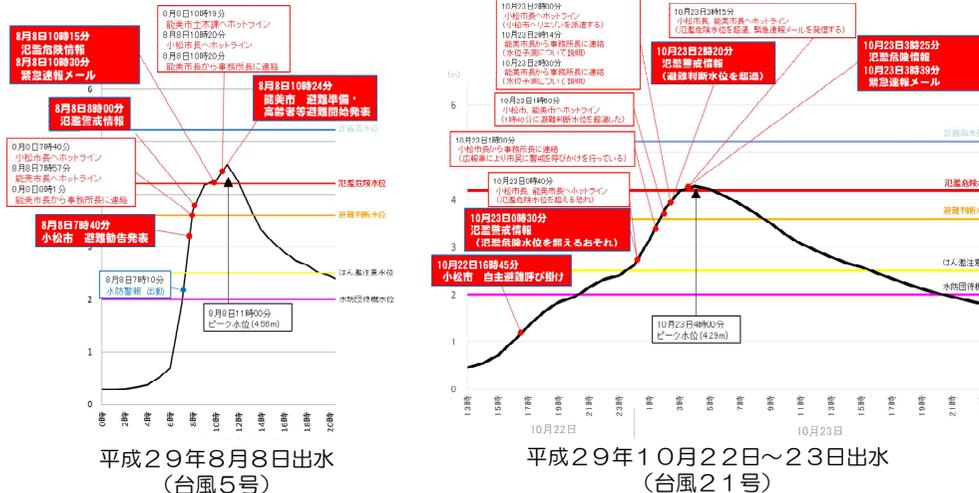
日時：平成29年10月26日（木）15：10～16：00
場所：川北町文化センター 2階大ホール
参加機関：＜構成機関＞

金沢市、小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町、石川県、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所
＜オブザーバー＞
加賀市、石川県農林水産部農業基盤課、北陸電力(株)、電源開発(株)、西日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、陸上自衛隊、金沢大学大学院自然科学研究科都市・河川防災講座



タイムラインに基づくホットラインによる情報共有実施状況

- ・台風5号及び台風21号により、梯川ではそれぞれ氾濫危険水位を超過する出水を記録
- ・減災対策協議会において、事前にホットラインの連絡体制を構築し、梯川流域の首長へ洪水に関する状況を逐次提供



平成29年出水のふりかえり内容

- ・氾濫危険水位を超過する洪水に対し、ホットラインを含む情報伝達について、迅速に行うことができた。
- ・迅速かつ確実な水防活動を実施するため、河川管理者・水防管理者双方の密な情報共有が必要。
- ・逃げ遅れゼロを目指すため、浸水想定区域パンフを作成したため、洪水ハザードマップ作成までの間、適切な避難を促すために活用してもらいたい。

住民向けパンフレット

